

目 次

[論文]

異言語間コミュニケーション方略としての言語混合

— ドイツ・ポーランド国境地域の事例から —

木 村 護郎クリストフ …………… 1

ハワイにおける海と陸の境界域の諸相

— ワイキキ地区の自然環境、サーフィン、ホームレス問題を通じた考察 —

水 谷 裕 佳 …………… 19

[研究ノート]

金門島スタディツアーを設計する

— 台湾研究のアウトリーチの一方法として —

山 崎 直 也 …………… 43

[特集]

地政学ルネサンスを超えて

— 地理学と政治学の対話 —

ラウンドテーブル～『現代地政学事典』（丸善、2020年）

パネリスト 高 木 彰 彦、山 崎 孝 史、古 川 浩 司

香 川 雄 一、川久保 文 紀、北 川 眞 也

モデレーター 岩 下 明 裕 …………… 55

[書評論文]

濱田武士、佐々木貴文著『漁業と国境』

福 原 裕 二 …………… 85

[書評]

リチャード・フォーク著『パワー・シフト：新しい世界秩序に向かって』

五十嵐 元 道 …………… 95

川喜田敦子著『東欧からのドイツ人の「追放」：20世紀の住民移動の歴史のなかで』

中 山 大 将 ……………101

Summary ……………107